

# 子ども読書支援センターニュース

No.252



2025.5.31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

\*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 ⇒

### ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）



○日時：令和7年6月3日（火）11:00～11:20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○対象：幼児 ○定員：10組程度

### ★令和7年度「学校図書館セミナー【第1回】」

○日時：令和7年8月6日（水）14:00～16:00

○会場：山口県教育会 第5研修室（オンライン併用）

○講師：講師 木下通子 氏（オフィスみちねこ代表、社会教育士、学校司書）

○内容：講義 「学校図書館から広がる。つながる。」



○対象：司書教諭、学校図書館担当教諭、学校司書、研修内容に関心のある教諭、学校図書館担当事務職員  
教育委員会指導主事、公立図書館職員 等

○定員：来館60名（要申込み・先着順）、オンラインは定員なし（要申込み）

○参加費：無料 ○申込方法：7月30日（水）17:00までに、電子申請（HPの要項をご覧ください。）

○連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

## 【新刊紹介】価格は消費税抜き

### <絵本-乳幼児から>

『パパじゃない?』 川之上英子・川之上健/作 くぼまちこ/絵 KADOKAWA 2025.3 ¥1100

パパとはぐれて、ひとりぼっちになつたらいおんのこども。ないちやいそなこどもをなぐさめようと、らいおんみたいにたてがみをつけたどうぶつたちが「パパだよ」とつぎつぎにやってくる。でもパパにしては、くびがながかつたり、おくちがおおきかつたりするみたい。きてくれたのはいつたいたがれかな。動物たちのユーモラスな掛け合いを通じて、あてっこ遊びが楽しめる絵本。

### <絵本-3, 4歳から>

『おひるねとんとん』 石井聖岳/作 童心社 2025.3 ¥1400

あかねおいくえんではおひるねのじかん。せんせいがたけくんのせなかをとんとんしてあげていると、まどのそとから「わたしもしてほしいなあ」とうさぎさん。うさぎさんをとんとんしてあげていると、たぬきくんやわにさんまでやってきた。やつとみんながねたかとおもったら、ゆきちゃんはまだねむれないようで…。保育士免許を持つ作者の、子どもたちへの眼差しが温かみ絵本。

### <絵本-5, 6歳から>

『おかあさん、いいことおしえてあげる』 シャーロット・ゾロトウ/ぶん ジュリー・モースタッド/え 福本友美子/やく  
工学図書 2025.3 ¥1800

わたしのがおとなになつたら、おかあさんをやせいのくろいうまにのせてあげる。せかゅいちおおきなはしをつくってあげるし、きれいなピンクのバラもあげる。それからね…。愛情に満ちた母娘の絵本。1964年の初版時は兄と妹の物語であったが、新版刊行にあたって母と娘の物語として新たな絵が付された。訳者および、シャーロットの娘で作家のクレセントによるあとがきあり。

### <絵本-小学校低学年から>

『モリスくんとオレンジいろのドレス』 クリストイーン・バルダチーノ/作 イザベル・マランファン/絵 まえざわあき  
え/訳 世界文化社 2025.3 ¥1600

げつようび、がっこうのリサイクル・コーナーで、いちばんすきなオレンジいろのドレスをみつけたモリス。ところがドレスをきているとみんなにからかわれ、きんようびにはついにがっこうをやすんでしまう。いえでごしてげんきをとりもどしたどようびのよる、モリスはすてきなゆめをみて…。自分なりの「好き」を貫くことの困難と喜びを描く絵本。ストーンウォール賞受賞作。

### <絵本-小学校中学年から>

『ガマ千ぴきイワナ千ぴき』 最上一平/作 ザ・キャビンカンパニー/絵 文溪堂 2025.3 ¥1600

ガマのすむ滝っぽへ、1匹のイワナがやってきた。イワナは何度も滝をのぼろうとしてはおちてくる。「いつか、のぼっていける気がするんだ」とあきらめないイワナのひたむきさに、ガマはあきれながらあこがれてもいた。大あらしの日、水かさのふえた滝をついにのぼっていったイワナをみて、ガマは…。自分を信じて挑戦し続ける強さと勇気の連鎖を、迫力ある筆致で描く絵本。

#### <読み物ー小学校低学年から>

『あいことばはあらしのよるに』 きむらゆういち/作 あべ弘士/絵 講談社 2025.3 ¥1600

緑の森で過ごすオオカミのガブとヤギのメイ。ある日ピクニックに行くが、ガブは崖から落ちけがをしてしまう。世話をしてくれるメイに、ガブは何か違和感を感じて…。食うものと食われるものの種を超えて育まれた友情は、新たな出会いによってまた次なる物語へと。出版30周年を迎えた『あらしのよるに』シリーズから20年ぶりの新刊となる新シリーズ。

#### <読み物ー小学校中学年から>

『サメのイエニー』 リーサ・ルンドマルク/作 シャルロッテ・ラメル/絵 よこのなな/訳 岩波書店 2025.2 ¥1300

大きな声を出すのも手を挙げるのも嫌いな小学2年生の女の子イエニー。先生は大きな声でしゃべるように促すが受け入れられない。ある時、水族館のサメに出会ったイエニーは…。自分を変えたくないと思っている子どもに寄り添い、ありのままであることを応援する物語。本書はスウェーデン図書館協会による児童文学賞ニルス・ホルゲション賞など受賞。

#### <読み物ー小学校高学年から>

『この手はいつか』 中山聖子/作 保光敏将/絵 文研出版 2025.2 ¥1600

福岡のアパートで母と二人で暮らす小学5年生の少年真潮（ましお）は、クラスメイトの言動に激怒し暴れてしまう。母は担任教師に愛情不足を指摘され姿を消した。真潮は山口県の萩焼の窯元である祖父と夏休みを過ごすことに。不器用ながらも娘と孫に愛情を注ぐ祖父と自身の将来や周囲の人との関係に悩みながらも成長する少年の物語。筆者は山口県在住。

#### <読み物ー中学生から>

『ホタルの森と魔女の秘密』 アイシャ・ブシュビー/作 中林晴美/訳 フレーベル館 2025.3 ¥1600

中学校へ上がる年の夏、クウェートからイギリスの大おばさんの家へ、両親より一足先に引っ越してきた12歳のヘイゼル。慣れない環境への不安に呼応するように、ヘイゼルの前に3匹のホタルがあらわれる。ホタルたちに連れていかれる恐ろしい森での冒険は、次第に日常と混じり合っていき…。強迫性障害を発症した少女が、周囲との関わりを経て自身の心と向き合っていく物語。

#### <ノンフィクションー小学校低学年から>

『ベランダでわたをつくったよ』 あおきあさみ/さく 福音館書店 2025.4 ¥1600

おとなりのおばあちゃんから綿花の種をもらったモモ。ベランダに置いた植木鉢に種をまき、弟と育てることに…。種つが発芽して成長し、花を咲かせ実をつけ、綿ができるまでを物語を通して学ぶ絵本。収穫した綿を糸にし布を作る工程では、身近な材料で自作できる道具についても紹介する。巻末に糸の紡ぎ方、布の折り方の図説の掲載あり。

#### <ノンフィクションー小学校中学年から>

『日本全国なんでもナンバーワン図鑑』 スタジオタッククリエイティブ 2025.3 ¥3000

日本一標高が高い山、低い山、古い神社、長い滑り台、速い列車、広いカルスト台地…など、いろいろなジャンルの日本一を自然・建物施設・乗り物・産業の4章で紹介する。関連する写真や情報、数値などを見やすく掲載。巻末に都道府県別の産業の日本一も掲載。根拠となる数値を表す様々な単位にも触れられる。日本各地の特徴を楽しみながら学べる1冊。

#### <ノンフィクションー小学校高学年から>

『中原中也のことばと人生』 中原豊/監修 ポプラ社 2025.2 ¥1900

1907年、山口県山口市に生まれ、「魂の詩人」と呼ばれ多くの人を魅了する中原中也。右開きで中也の代表的な17のことばとその背景となった壮絶な人生の13のエピソードを紹介する。左開きで中也に関連する人物・クイズ、時代背景の資料の掲載あり。中原中也記念館（山口市湯田温泉）の館長が監修。「心を強くする！ビジュアル伝記」シリーズ。

#### <ノンフィクションー中学生から>

『障害のある10代のための困りごと解決ハンドブック』 野口晃菜・松波めぐみ/編著 現代書館 2025.4 ¥2000

学校、友達、恋愛、家族、進路や暮らしなどの9つのテーマごとに、障害のある10代の気持ちに寄り添いながら、困りごとを解決して自分らしく生きていくためのヒントを伝える。各分野の専門家らによる話や当事者の体験談のほか、支援制度や相談先、役に立つサイト等も一部二次元コード付きで掲載。巻末に編著者・執筆者のプロフィールあり。総ルビ、平易な文章で読みやすい。

#### <研究書>

『やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく』 梶久美子/著 文藝春秋 2025.3 ¥700

国民的人気ヒーロー「アンパンマン」。その生みの親である「やなせたかし（本名：柳瀬嵩）」の生涯を、やなせのもとで編集をするなど、やなせと親交のあったノンフィクション作家が新資料をもとに書き下ろした評伝。生い立ちや妻小松暢のこと、仕事への向き合い方などが丹念に描かれる。巻頭にはやなせや家族等の写真、巻末には略年譜と参考文献あり。文春文庫オリジナル。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索（OPAC）では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

